

コミュニケーションから生まれる 100文字エッセイ入門 ～集い・語り・学ぶ～

エッセイの入門編の講座です。各回とも、書き方のポイントを学びながら、100文字のエッセイを書いていきます。そして、書いた作品を参加者同士で発表（音読）し、聴き合い、感想を述べ合う、というコミュニケーションを通して、作品をブラッシュアップしていきます。書けば書くほど、味わい深い作品となるエッセイ。おうち時間の充実に向けて、コロナ禍を自分らしく楽しく過ごすヒントを見つけてみませんか？お気軽にご参加ください。

回	開催日	内容
1	1/17	文章の基礎知識とエッセイの基本構造 ～人はなぜ、表現するのか？～
2	1/24	気持ちが伝わる表現のテクニック
3	1/31	作品をブラッシュアップするためのポイント



時間 いずれも月曜日 午後2時～4時 **場所** 公民館東分館集会室A・B

対象 市内在住・在勤・在学の方 **定員** 10人（多数抽選）

参加費 無料 **持ち物** 筆記用具 ※参加当日、自宅での検温とマスク着用をお願いします。

応募方法 令和3年12月13日（必着）までに、往復はがきに住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を明記し、公民館東分館「100文字エッセイ入門」係へ
送付先（〒184-0011小金井市東町1-39-1）

※ 定員に満たない場合は、12月14日（火曜日）以降、午前9時から電話または、公民館東分館窓口で、申込順にて受付。



はっかく まさひろ

講師：八覚 正大 さん
(作家)

1976年、早稲田大学理工学部数学科を卒業。その後、都立大学人文学部仏文科を卒業。都立高校の教職の傍ら、更に東京学芸大学教育学部大学院心理学科を修了。

1991年、小説「十二階」で新潮社新人賞を受賞。また小説「カウンター」で太宰賞の最終候補となる。

人間の心を、文学、教育、心理、科学、美術……そして日常の中から、探求し続けてきました。おそらく、人間そのものが、私は大好きなのでしょう（笑）。その人間は、他者と関わり合う中で、時間、お金などを媒介にしますが、もっとも多く、かつ、有意義に用いるそれは「言葉」だと考えます。つまり人類が生んだ最高の財宝こそ「言葉」だと。だったら、その技術を学び、最高のツールとして残りの人生を有意義にしたいと。言葉はコミュニケーションを司り、「話し言葉」と「書き言葉」があります。それらをフルに用い辿り着いたのが、この百文字エッセイ（楽文）です。「集い」「話し合い（聴き合い）」そして「書く」、さらに「感想を述べ合う」—こんな有意義で楽しい行為は他にはないと思われま。